

2年 道徳科学習指導案

令和7年1月25日(土)2校時

2年1組 23名 授業者 杉本 真澄

2年2組 23名 授業者 小川 美里

1 主題名 自分たちとちがっても 内容項目:C(11)公正、公平、社会正義

2 教材名 「およげないりすさん」 光村図書

3 ねらい りすの思いに気づき、一緒に遊ぼうと考えた白鳥、あひる、かめの姿などを通して、誰とでも仲よくすることの大切さを考えさせ、違いや好き嫌いとらわれず、誰に対しても公正、公平に接していこうとする心情を育てる。

4 展開

	学習活動(主な発問と予想される児童の反応)
導入	1 誰とでも仲よくすることができているか、これまでの経験から振り返る。 ○あなたは、誰とでも仲よくできていますか。 ・いろいろなお友達を誘って遊んでいるよ。 ・遊んでいたときに、「入れて」と言ったけれども、「人がいっぱいだから。」と断られた。
展開	2 「およげないりすさん」を読んで話し合う。 ○りすさんに「ぼくもいっしょに、つれていって。」と頼まれたとき、3匹は、どんなことを思っていたでしょう。 ・島に行けないりすさんは仲間に入れられないよ。 ・島で遊べるのは、泳げるわたしたちだけだよ。 ・せっかく3匹で遊ぼうと思っていたのに、面倒くさいな。 ○島で遊んでいても、ちっとも楽しくない3匹は、どんな話をしていたのでしょうか。演じてみましょう。 ・りすさんのことが気になって楽しくないよ。 ・泳げないからって仲間外れはよくなかったかな。 ・りすさんもいっしょに遊べる方法はないかな。みんなで考えよう。 ○りすさんも一緒に島へ行くときに、3匹は、どんなことを思っていたでしょう。 ・一緒に遊べる方法を思いついてよかった。今日は楽しく遊べるぞ。 ・泳げないからって、仲間に入れなかったのは、良くなかったな。みんなで遊べてよかった。 ・仲間外れをせず、みんなで仲良く遊べると気持ちがすっきりする。
終末	3 本時の学びを振り返る。 ○今日の学習を振り返って、今思っていることや考えたことを書きましょう。 ・友達と誘い合って、みんなで遊んだほうが楽しい。 ・みんなが楽しく遊べると、自分も嬉しくなる。 ・これからも、誰かを仲間外れにせず、みんなと一緒に遊びたい。

5 評価

・自分と異なる個性をもつ相手を認め合い、誰に対しても公平に接することの大切さについて考えている。